



バリバリやります!

埼玉県議会議員 埼玉県と久喜市を結ぶ実践力!

石川ただよし 報告

2022年 通算第181号 発行:無所属県民会議(県議会会派)久喜支部 作成・編集:石川忠義

事務所
〒346-0003
久喜市久喜中央 2-4-30
コバヤシビル B201
TEL: 0480-53-5107
FAX: 0480-53-5702
(番号非通知は受信できません)
ホームページ
(メールフォームあります)
<https://www.baribarist.com/>



プロフィール: 昭和44年生まれ。久喜市立太田小学校卒業。同久喜東中学校卒業。埼玉県立大宮東高校普通科卒業。埼玉大学経済学部卒業。埼玉大学大学院経済科学研究科博士前期課程修了(経済学修士)
平成7年から久喜市議会議員6期連続当選。平成27年埼玉県議会議員初当選。県議会第2会派の「無所属県民会議」幹事長。県議会産業労働企業委員会委員。少子・高齢福祉社会対策特別委員会委員。新型コロナウイルス感染症対策特別委員会委員。議会運営委員会委員。埼玉県議会街路樹を考える議員連盟会長。NPO 法人地方議会制度研究センター代表理事。県政躍進地方議員の会幹事長。(一社)久喜市観光協会顧問。(公財)埼玉県生態系保護協会久喜支部顧問。久喜栗橋倫理法人会顧問。久喜市高齢者大学・同校友会ファン。彩愛クラブファン



所属の「少子・高齢福祉社会対策特別委員会」で質問をする石川ただよし

12月に可決した「一般会計補正予算」の総額 419億3,304万8千円



(補正予算を加えた後の埼玉県一般会計予算の総額)
2兆6,375億5,877万6千円

※ 裏面に久喜市内の県事業について掲載しています。
皆様、いかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスによる生活などへの影響が始まり、2年が経ちました。議員活動にも一定の制約がありますが、今できることを精一杯行い、皆様とこの困難を乗り越えたいと思います。さて、今号では、昨年12月定例会で議決した内容と久喜市内県事業の進捗を中心に概要をご報告いたします。

新型コロナウイルス対策

〇「生活に困っている方への支援」

社会福祉協議会を通じて、新型コロナウイルス感染症の影響で休業や失業をして収入が減り生活資金に困っている方への緊急かつ一時的な生活費(緊急小口資金)の再貸付について、受付期間を令和4年3月末まで延長しました。

〇「介護施設・障害者施設の新型コロナウイルス感染症対策の継続」

感染発生時でも介護・障害福祉サービスが継続できるように、人員確保や施設等の消毒と清掃の経費を補助します。また、クラスターが発生した介護・障害者施設に看護師を派遣する体制をつくりまします。他に介護施設の事業継続を支援するために約13億円を基金に積み立てました。

〇「無料のPCR検査・抗原定性検査を開始」

発熱などの症状がなく感染に不安がある県内在住者は、県に登録をした県内薬局・ドラッグストアでPCR検査等が無料で受けられるようになりました。

各市町村の検査場は県ホームページから確認できます。

※ 検査器具の供給状態により、検査数に限りがあります。また、無料検査の内容が変更になることもあります。事前にお問合せ下さい。



埼玉県検査無料化相談窓口
電話: 0570-200-607
受付時間: 9時~22時(土日祝日含)

生活様式を見据えた社会活動の活性化支援

〇「観光応援キャンペーンを実施 観光事業者を支援」

県内施設に宿泊をした人に、1月末まで飲食店やお土産店で使用できる3,000円のクーポンを交付します。

また、県内や埼玉県に隣接する都県からの宿泊・日帰り旅行をした場合には、旅行代金の5割(上限5,000円)を補助し、さらに2,000円分の地域観光券を配付します。(新型コロナウイルスの感染状況により、中止になる場合があります。)

※ 1月中旬からの新型コロナウイルス感染症増加に伴い、3,000円のクーポン交付、旅行代金の5割補助と2,000円の地域観光券の配付は開始延期となりました。

〇「県産農産物で販売促進キャンペーン 生産者等を支援」

量販店等が埼玉県産の農産物を使うキャンペーンなどを支援して、販路拡大を行います。キャンペーンでの食材費は2分の1、キャンペーンのPR資材経費は10分の10を補助します。



キャンペーン用のほり

〇「事業再構築に取り組み中小企業等への支援」

獲得することが難しい国の「事業再構築補助金」の申請に必要な事業計画の策定に関わる税理士への委託料などの経費2分の1(上限25万円)を補助します。



〇「キャッシュレス決済に取り組む商店街を支援」

クレジットカードや電子決済で会計を済ませる機器等の導入を進める商店街に補助をします。会員店舗の9割以上かつ新たに10店舗以上が機器を導入する場合や新たに20店舗が機器を導入する商店街には、全額を補助します。右記以外の商店街が機器を導入する場合にも半額を補助しますが、1店舗あたりの上限は4万円の補助になります。



介護者の負担軽減につながる「介護ロボット」を体験しました。

その他の議案

〇「宝くじの販売額を決定」

公共事業等の経費に充てるため、全国自治宝くじ、関東・中部・東北自治宝くじを発売するため、埼玉県の令和4年度販売額を400億円以内に決定しました。

〇「クロスボウの所持などの手数料を決定」

法改正によりクロスボウの所持などが公安委員会などの許可制になりました。これに伴い、3月15日から新規の所持許可申請(10,500円)や初心者講習会受講申請(6,900円)などの手数料を定めました。



「クロスボウ」警視庁HPより

〇「久喜市・加須市の下水道維持管理負担金が値上げ」

久喜市と加須市の一部の下水道処理を行っている古利根川流域下水道の維持管理のための負担金が令和4年度から値上げになります。

県では5年ごとに負担金額の見直しを行っており、久喜市・加須市の同意を得たことから1㎡あたり78円から82円となります。



大晦日からのピラ配布とご意見聞き街宣活動。お声がけありがとうございました。



議事堂内で地元案件を職員からヒアリング。色々な要望や意見を伝える場でもあります。



石川事務所で市内各地への「議会報告」郵送作業をしています。



「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」で質疑する 石川ただよし

(負担金は市が負担)増額の要因は主に施設の老朽化や電気料、労務費の増加です。負担金は久喜市・加須市から埼玉県に納められます。(久喜市の維持管理負担金は他の地区に比べて高額であることから、令和3年8月3日に久喜市・加須市とともに県に県内下水道維持管理負担金の平準化を求める要望活動を行っています。)



～ 令和3年度 埼玉県による久喜市内事業の進み具合 (抜粋) ～

下清久 「県道六万部久喜停車場線」未舗装の路側帯の安全対策が進む

水路と並行している上に路側帯がなく、地元や通行する方々から危険性が指摘されていた下清久の「県道六万部久喜停車場線」、寿倉庫様前の路側帯設置工事を進めています。

今後、安全対策として転落防止柵なども設置します。



菖蒲町柴山枝郷「県道さいたま菖蒲線」歩道設置完了

地元の皆さんから要望を頂いていた、菖蒲町柴山枝郷の「県道さいたま菖蒲線」下り線の歩道が一部狭くなっていた区間は関係者の協力も頂き拡幅工事が完了しました。

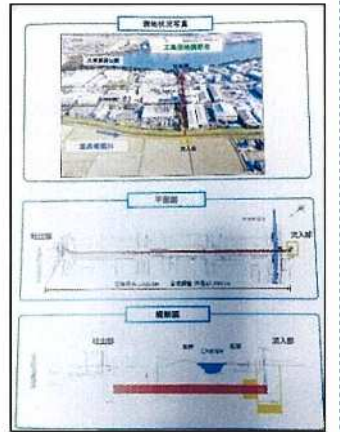


除堀・原・樋ノ口・三箇の水害対策 庄兵衛堀川大規模工事 工事施工業者決定

私が県議会議員当選時から取り組んできた庄兵衛堀川の大規模治水事業が始まっています。これは、庄兵衛堀川の増水時に河川水を一時的に久喜菖蒲公園の昭和沼に水を溜め、水量が減った後に再び庄兵衛堀川に水を戻すための地下パイプなどの施設を設置する工事です。

既に地下埋設物除去などの工事は始まっていましたが、12月定例会では導排水路の本体の工事業者が決定しました。庄兵衛堀川から昭和沼までは2,200mmのパイプを325m埋設する計画です。

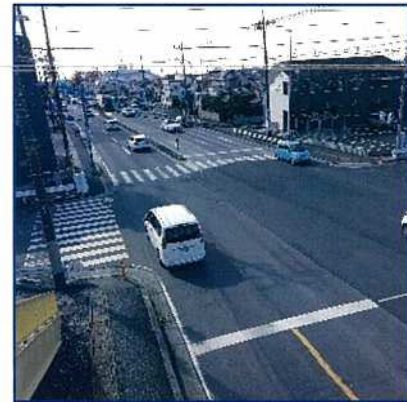
施工業者：ユーディーケー・伊田テクノス特定建設工事共同企業体
請負金額：7億5,011万900円(税込)
履行期限：令和5年3月31日



上早見・上町「県道六万部久喜停車場線」、「県道さいたま栗橋線」舗装打ち換え完了

劣化して凹凸ができていた上早見の新久喜総合病院前「県道六万部久喜停車場線」の舗装を打ち換えて凹凸をなくしました。

また、地元の方や通行する方、市議から要望を頂いていた「県道さいたま栗橋線」の「上早見歩道橋交差点」の凹凸も舗装打ち換えを行い車道と横断歩道上の危険性をなくしました。



菖蒲町三箇 「県道川越栗橋線」歩道の設置進む

北中曽根地区から菖蒲地区(モラージュ菖蒲)に向かう「県道川越栗橋線」の歩道未設置部分への歩道設置工事が進んでいます。

ここは、以前から通行する方々から危険性が指摘され、田中勝市議や通行する方から要望を頂き歩道設置を働きかけていた区間です。

笹田橋から西側に昨年設置した歩道からさらに延長しています。



菖蒲町下栢間「県道行田蓮田線」舗装打ち換えが進む

私が当選来、継続的に整備を求めている栢間地区の「県道行田蓮田線」の整備は、令和3年度の舗装打ち換え工事588mが完了しました。

1月下旬には、さらに北側92mの工事を行います。大型車の通行などによって経年劣化した凹凸などをなくし、道路標示も新しくしました。今後も同県道の拡幅・歩道設置など整備を働きかけます。



鷲宮「旭橋」の架け替え工事進む

「鷲宮神社」から「久喜市役所鷲宮総合支所」に向かい「市立鷲宮図書館」近くにある「旭橋」は、老朽化のために架け替えを進めています。

工事は順調に進んでおり、令和4年5月31日には通行止めを解除して道路が通行できるようになる予定です。



小右衛門の農業用管水路更新工事進む

栗橋地区の小右衛門で老朽化している農業用管水路の更新工事が行われています。春の田植え時期に間に合うように、稲刈りが済んだ後に工事を始めました。工事は順調に進んでいます。



「久喜市高齢者大学」の新生募集が始まっています。催事の時や活動中の皆さんは、いつも“はつらつ”としていて、活力が伝わってきます。ご興味のある方は「久喜市教育委員会生涯学習課」0480-58-1111(内線215)までお問合せ下さい。

地域の課題や県政全般について、ご要望に応じて出前報告会・説明会などを行っています。お気軽に石川事務所までお問合せ下さい。





バリバリやります！ 埼玉県議会議員 埼玉県と久喜市を結ぶ行動力！

石川ただよし

報告

事務所
〒346-0003
久喜市久喜中央 2-4-30
コパシビル B201
TEL : 0480-53-5107
FAX : 0480-53-5702
(番号非通知は受信できません)
ホームページ
<https://www.baribarist.com/>
(メールフォームあります)

f t i YouTube
excite blog

2022年 通算第182号 発行:無所属県民会議(県議会会派)久喜支部 作成・編集:石川忠義

プロフィール: 昭和44年生まれ。久喜市立太田小学校卒業。同久喜東中学校卒業。埼玉県立大宮東高校普通科卒業。埼玉大学経済学部卒業。埼玉大学大学院経済科学研究科博士前期課程修了(経済学修士)
平成7年から久喜市議会議員6期連続当選。平成27年埼玉県議会議員初当選。県議会第2会派の「無所属県民会議」幹事長。県議会産業労働企業委員会委員。自然再生・循環社会対策特別委員会委員。埼玉県議会街路樹を考える議員連盟会長。NPO 法人地方議会制度研究センター代表理事。県政躍進地方議員の会幹事長。(一社)久喜市観光協会顧問。(公財)埼玉県生態系保護協会久喜支部顧問。久喜栗橋倫理法人会顧問。久喜市高齢者大学・同校友会ファン。彩愛クラブファン

久喜市で行う令和4年度 埼玉県の生活に関わる事業

「上清久交差点」拡幅整備の事業化決定！

上清久地区「県道川越栗橋線」と「県道久喜騎西線」が交差する「上清久交差点」の拡幅整備を進めることが決定しました。

令和4年度は拡幅するための用地測量を行います。区間は「県道川越栗橋線」が「光明院」様前から「太芳寺」様前まで、「県道久喜騎西線」が「東明寺」様手前から「上清久交差点」を通り西側約100mまでです。

県道川越栗橋線の清久地区整備と合わせ、平成28年2月県議会一般質問から令和3年9月県議会一般質問まで5回ほど取り上げてきました。

地元市議や区長、地域の皆様のご理解とご協力もあり新たに事業化が決定しました。



皆様、いかがお過ごしでしょうか。今年度は、令和4年度の埼玉県の新規事業や久喜市に関する県事業などを中心に、報告をいたします。

各方面、新型コロナウイルスの影響が続いていますが、コロナ禍でもやるべきこと、できることを県民目線で続けてまいります。

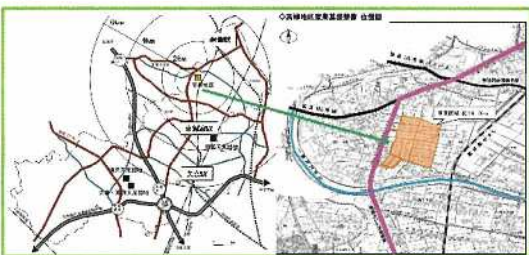


「少子・高齢福祉社会対策特別委員会」で質問をする石川ただよし

栗橋「高柳産業団地」の整備着手

高柳地区に令和4年度から7年度にかけて県企業局が産業団地を整備します。全体の総事業費は約74億円を見込み、県内でも大規模な産業団地になります。

また、これに合わせて市と関係道路の整備などを進めます。



「加須幸手線」の整備進む

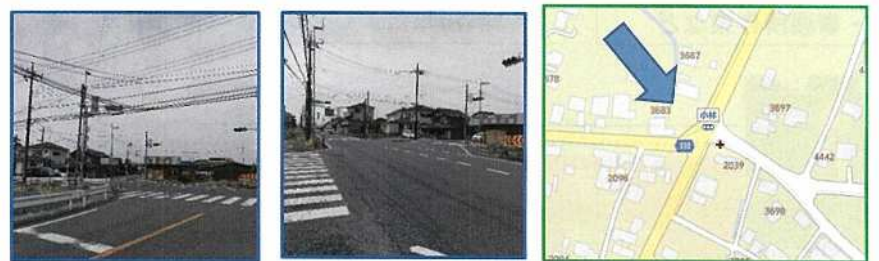
鷲宮地区、「県道加須幸手線」の3,255mの整備について、令和4年度は80mの道路改築工事と加須市との隣接地の用地買収を行います。



小林交差点の整備を前進

菖蒲町小林地区「県道川越栗橋線」と「県道笠原菖蒲線」との「小林交差点」の整備を引き続き進めます。令和4年度は「県道笠原菖蒲線」側の用地買収を進める予定です。

「小林交差点」の整備は、平成28年2月県議会一般質問で取り上げて以来、継続的に早期実現を要望しています。地権者や地域の皆様のご理解とご協力ですべてが進んでいます。



裏面には「新規事業」と「市内事業」他を掲載



令和4年度埼玉県一般会計予算

総額 2兆2,284億5,900万

- 県民の自主的・自発的な文化活動を支援
- アマチュア文化団体、子供の文化芸術体験や若手人材の育成、社会問題に関わる文化芸術活動への助成を行います。
- 防災ヘリコプターを更新
- 救助活動や救急搬送などを行う防災ヘリコプターの

主な新規事業



「県道春日部久喜線」の整備進む

本町地区、南地区の「県道春日部久喜線」のJR高架側から県立久喜高校入口まで(1,400m)の整備は、令和4年度に現況測量、道路予備設計などを行います。今後、久喜市や地元と調整をして、夏頃に測量説明会を行う予定です。

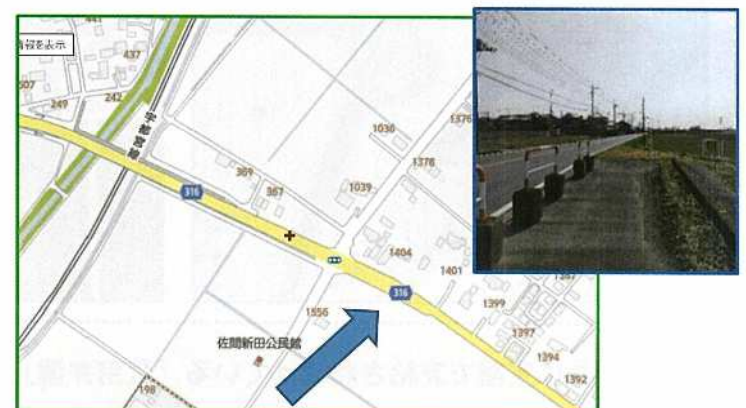
令和3年度には、交通量調査、土地建物登記調査、概算事業費の算出などを終えています。



佐間「県道阿佐間幸手線」の歩道整備進む

佐間地区「県道阿佐間幸手線」のJR陸橋「呉服跨線橋」東側1つ目の信号から東へ750mについて、拡幅と歩道整備を行うための用地買収を久喜市で行う予定です。

また、河原代地区と高柳地区の間にあたる「県道阿佐間幸手線」の570mについて、上下両線の舗装を打ち換えて路面を整備します。



うち、平成13年から運航している「あらかわ2号」を更新します。購入費用は約28億円で令和7年からの運航開始予定です。



50m屋内プール、スポーツ科学拠点施設整備等の検討

川口市内、建設予定地のポリング調査などを進めます。また、上尾運動公園全体整備をするための事業手法を検討します。

脱炭素社会の実現に向けて
中小企業等を支援
条件を満たし脱炭素化を計画的に進める中小企業等を重点的に支援します。

また、高効率省エネルギー設備の新設・増設を金融機関から融資を受ける際の対象に追加します。

生物多様性センターを
設置・運営
加須市内の「埼玉県環境科学国際センター」に「生物多様性センター」としての部署・機能を設けます。これまでの生物多様性に関する調査などを重点的・専門的に進めて行きます。

若者の結婚支援
結婚を希望する20代独身男女1,000名に「SAITAMA出会いサポートセ



センター」などを通じて婚活を集中支援します。AIを利用するなどオンラインの婚活イベントも実施します。

児童虐待対策を強化

相談体制を強化するために、SNS相談窓口の設置、虐待対応の市町村職員の養成を支援、相談援助技術を向上させるために市町村に児童福祉司などの経験者を派遣します。



その他、市町村の児童虐待相談体制の強化などを支援します。

安心・安全な周産期
医療体制の整備

一般産科と基幹病院をオンラインで接続し、支援体制を整備します。

また、新生児集中治療室や産科病床の空き情報を把握し、適切な病院に搬送調整するコーディネートサービスを24時間365日配置する。

不妊症・不育症治療への
相談支援

流産・死産等で子供を持つことができなかった方への相談機能を強化します。また、不妊治療等に関係する医療機関、相談機関、行政機関等の協議会をつくりまします。

企業の資金繰りを支援

「カーボンニュートラルの実現」「DXの推進」「事業再

構築」の要件をつくり、融資利率をこれまでより0.1%引き下げます。

商店街のキャッシュレス
決済の推進

クレジットカードなどのキャッシュレス決済端末の導入に対し、1店舗当たり2万円から4万円を上限に、商店街等に補助をします。また、キャッシュレス決済の専門家を商店街に派遣したり、各啓発事業も行います。



産学連携による
技術開発力向上

大学の知見を活かした県内ものづくり企業の技術開発力の向上を支援するため、パイオ等に関する大学と企業の研究会をつくりまします。

高齢者の働く場の拡大

高齢者が働きやすい職場として認定した企業のうち、さらに「定年廃止」「70歳以上の定年年齢引き上げ」「70歳以上の継続雇用」をする企業を認定します。

新規就農を支援

令和4年度に新規就農する方に、経営発展のための機械や施設等の導入を支援



します。また、海外農業研修に参加する方に1人あたり60万円の必要経費を支援します。

通学路の緊急対策を推進

「第5期埼玉県通学路整備計画」に基づいて県道の通学路の安全対策を進めます。令和4年度は170か所にカードレールの設置など安全対策を行います。計画の850か所は令和8年度までに実施します。



特別支援学校の整備

川口特別支援学校を令和8年4月、令和10年4月に174名の設置規模で校舎を増築、整備します。

県立図書館の整備検討

社会情勢や時代にあった県立図書館のあり方や機能等を検討し、新しい県立図書館の整備に向けた有識者会議の開催、基本構想の策定等を行います。



各団体催事や打ち合わせ・事務所作業など



「新型コロナウイルス対策特別委員会」で質疑する 石川たよし



江面地区の一部 大型車通行禁止の規制はじまる

江面地区「久喜菖蒲公園通り」の一部に、これまで働きかけを行ってきた大型車通行禁止の規制が令和4年3月11日から始まりました。

この地区は、長年にわたり大型車の通行による振動や騒音に悩まされ令和3年春に地元の皆さんからご要望を頂いていた場所です。

既に昨年中に、横断歩道の修繕や信号機停止線の位置変更などの対策は済み、注意啓発標識やグリーンベルトの設置など久喜市所管のものは春山市議が働きかけ、設置が済んでいました。

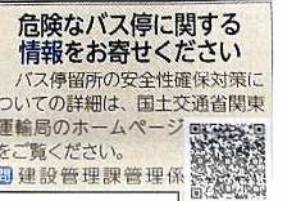


ご報告

危険なバス停の情報収集・対策が始まりました

昨年の9月議会、一般質問で取り上げた「危険なバス停」対策が進んでいます。

幅員の狭い道路にバス停があり、走行する自動車と人との間がすれすれになるなど「危険を感じる」バス停の利用者からの情報収集と対策の検討が始まりました。



「広報くき」での呼びかけ

県要綱などの公開が始まりました

昨年の9月議会、一般質問で埼玉県が行政として各種決定や手続などを行う際の手順を示した「要綱」などの積極的な公開を求めています。県だけでなく、申請者である県民も県の手続きの根拠などを知ることによって公平性・正当性を担保し、さらに申請者（県民側）の利便性が向上するからです。

質問に対して、県は積極的な公開の必要性を認め今年3月から県HP上で順次、要綱の公開が始まりました。

各担当課所の要綱のページ

課所	要綱	公開状況
企画部	職員給与	公開済み
総務部	職員の採用	公開済み
健康福祉部	児童福祉	公開済み
建設管理部	建築	公開済み
環境部	環境	公開済み
農林部	農業	公開済み
産業部	産業	公開済み
観光部	観光	公開済み
危機管理課	防災	公開済み
情報管理課	情報	公開済み
総務課	総務	公開済み
企画課	企画	公開済み
総務課	総務	公開済み
健康福祉課	健康福祉	公開済み
建設管理課	建設管理	公開済み
環境課	環境	公開済み
農林課	農林	公開済み
産業課	産業	公開済み
観光課	観光	公開済み
危機管理課	危機管理	公開済み
情報管理課	情報管理	公開済み
総務課	総務	公開済み
企画課	企画	公開済み

県HPに設けられた要綱の公開

議員に定額で支給され続けている「費用弁償」を実際にかかった交通費だけの支給とすべく、「費用弁償の見直しを行う協議の場」の設置を提案していましたが、3月定例会最終日に自民党の反対で見送られました。引き続き取り組みます。





石川ただよし

バリバリやります！ 埼玉県議会議員 埼玉県と久喜市を結ぶ行動力！ 石川ただよし 報告

2022年 通算第183号 発行:無所属県民会議(県議会会派)久喜支部 作成・編集:石川忠義

事務所
〒346-0003
久喜市久喜中央2-4-30
コバヤシビルB201
TEL: 0480-53-5107
FAX: 0480-53-5702
(番号非通知は受信できません)
ホームページ
https://www.baribarist.com/
(メールフォームあります)



プロフィール: 昭和44年生まれ。久喜市立太田小学校卒業。同久喜東中学校卒業。埼玉県立大宮東高校普通科卒業。埼玉大学経済学部卒業。埼玉大学大学院経済科学研究科博士前期課程修了(経済学修士)
平成7年から久喜市議会議員6期連続当選。平成27年埼玉県議会議員初当選。県議会第2会派の「無所属県民会議」幹事長。県議会産業労働企業委員会委員。自然再生・循環社会対策特別委員会委員。埼玉県議会街路樹を考える議員連盟会長。NPO法人地方議会制度研究センター代表理事。県政躍進地方議員の会幹事長。(一社)久喜市観光協会顧問。(公財)埼玉県生態系保護協会久喜支部顧問。久喜栗橋倫理法人会顧問。久喜市高齢者大学・同校友会ファン。彩愛クラブファン

補正予算総額 36億2,425万9千円

県民の省エネ対策を支援
原油価格の高騰に対応しエネルギー使用量とCO2排出量を削減するため、「エネファーム」や「太陽熱利用システム」「窓断熱改修」などを家庭が行う場合、各対象設備の補助上限額をこれまでの1件あたり5万円から20万円を1件あたり10万円から40万円に引き上げます。また、補助件数も倍増します。

農家の省エネ化を支援
施設園芸農家への燃料費高騰による影響を長期的に軽減するため、ヒートポンプなどの省エネ機器、資材、種苗などを取り入れて省エネ型施設園芸に転換するための費用を生産者団体に補助します。国の予算により、約4億3千万円を計上しています。

中小企業の省エネ対策を支援
温室効果ガス排出実質0の実現のための中小企業の設備投資を支援します。具体的には、設備投資促進資金に融資利率を0.1%引き下げた「エネルギー対策特例」を設けます。

降電(ひょう)被害農家への支援決定



大野知事に直接、被害状況を説明し支援を求める 石川ただよし



降電から20分以内に梨農家を訪ねて被害状況を調査する 石川ただよし

6月29日、同月2、3日に県内を襲った農産物への降電被害について、農業生産者の復旧のための支援として約8億7,500万円の補正予算が可決しました。

農業生産者への支援については、6月14日に石川が所属する会派「無所属県民会議」から大野知事に、降電被害の特別災害への指定と農業生産者の救済を中心に降電で影響を受けた方々に寄り添う支援策などの要望書を提出していました。

6月2、3日の降電では、久喜市特産の梨をはじめ東部15市7町のぶどう、小麦、とうもろこしの他、ビニールハウスなどの生産施設に大きな被害が出ていました。県の試算では被害総額は38億4,867万円にもなりました。

補正予算で支援が決定したのは、「病虫害の防除用農薬、樹勢回復用肥料と次期作の種苗等の購入費の補助」「ビニールハウスなどの修繕費用の補助」他に農業関係の融資枠拡大や利子補給などです。準備が整い次第、申請を受け付けます。

乗合いバス
燃料費高騰の影響を受ける県内乗合いバス、タクシートの運行継続のために、燃料費高騰分を補助します。全額が国からの予算です。

県立・私立学校の給食費などを補助
物価高騰による保護者の負担を減らすために、給食を行っている県立学校の給食費(県立中学校1校、定時制高校22校、特別支援学校34校)と舎食費の物価高騰分を補助します。また、給食を実施している私立小・中学校・特別支援学校の保護者にも物価高騰相当額を補助します。補助額は、学校から直接、給食業者に支払います。

観光事業者を支援
低迷しているバス利用を増やすため、日帰りバスツアーは5万円/旅行商品、県内宿泊バスツアーは10万円/旅行商品、県外宿泊バスツアーは5万円/旅行商品を補助します。

中小企業の資金繰りを支援
燃料や原材料価格の高騰に対応し、中小企業等の資金繰りを支援するために経営安定資金緊急融資枠をこれまでの100億円から300億円に拡大します。

また、燃料費高騰対策として、所有する貸し切りバス1台につき15万円を一般貸し切りバス事業者に補助します。



所属の「産業労働企業委員会」で質疑を行う 石川ただよし

今年度の所属委員会など
今年度の県議会での所属は、県の経済、雇用や企業関係などを所管する「産業労働企業委員会」と県の自然環境、地球温暖化や廃棄物処理などを所管する「自然再生・循環社会対策特別委員会」となりました。また、県議会からは1人のみが就任し県の薬事行政を審議する「埼玉県地方薬事審議会」の委員となりました。

皆様、いかがお過ごしでしょうか。今号では、令和4年6月定例会で可決した補正予算の内容や各議案・久喜市内県事業を中心に報告をいたします。新型コロナウイルスの影響が続いています。基本的な感染対策を続けるなど、お気をつけてお過ごしください。

※裏面には久喜市内の県事業について掲載

その他の議案



○ 訴えの提起について

所沢市内の県営住宅で、家賃33万3千円を滞納した人と鶴ヶ島市内の県営住宅で家賃44万7,600円を滞納した人に明け渡しと滞納家賃の請求を裁判所に訴えました。

また、さいたま市内と北本市内の県営住宅で、居住する権利がないにもかかわらずわらわらずに明け渡しと損害賠償請求を裁判所に訴えました。



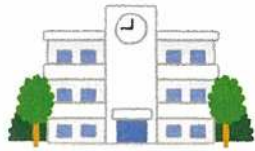
○ 特別支援学校を新たに設立

さいたま市岩槻区の県立小児医療センター跡地に「埼玉県立岩槻はるかぜ特別支援学校」を令和5年4月1日に開校します。定員は200人程度、学区は蓮田市・さいたま市岩槻区・さいたま市見沼区の一部の予定です。

○ 県立高校4校を統合

県教育委員会では、少子化等に対応すべく県立高校の統合を進めています。

令和5年4月1日には「埼玉県立児玉白揚高等学校」と「同県立児玉高等学校」を統合して新たに「同県立児玉高等学校」を設置します。また、「同県立飯



能高等学校」と「同県立飯能南高等学校」を統合して新たに「同県立飯能高等学校」を設置します。



議会会期終了後に「大野もとひろ知事」と

久喜市内で行う埼玉県事業の進み具合



菖蒲町柴山枝郷 信号機の設置決定！！

危険が指摘され要望を頂いていた菖蒲町柴山枝郷の「県道さいたま菖蒲線」と市道との交差点に「押しボタン式信号機」の設置が決定しました。

ここは、菖蒲中学校の通学路であり、カーブで見通しが悪い上に朝夕は自動車の往来も多く危険が指摘されていました。市との協議が整い次第、工事を進める予定です。



菖蒲町柴山枝郷の見通しが悪い交差点
押しボタン式信号機を設置する予定地
(現在は横断歩道のみ設置)

所久喜「県道川越栗橋線」「清久さくら通り交差点」北側歩道の豪雨時「水たまり」解消対策終了しました。

野久喜「青毛堀川」右岸のり面の崩れ修繕

7月12日、13日の豪雨によりJR宇都宮線と東武鉄道の間で、青毛堀川右岸のり面が10mほど崩れました。

県では既に応急的な対策をしていますが、今後、小型土のう等でさらに浸食防止対策を行います。



鷲宮「旭橋」の架け替え完了 開通

これまで、老朽化のために架け替え工事を行っていた鷲宮地区の「旭橋」の工事が完了し、5月30日から通行可能になりました。

周辺の皆様や工事期間、迂回などにご協力を頂いた皆様に御礼申し上げます。



架け替えが終わり、開通した「旭橋」



東鷲宮小学校通学路 西大輪2丁目に「横断歩道」を設置

昨年5月に地域や保護者の方々からご相談と要望を頂き、警察などに継続的に働きかけをしていた西大輪2丁目内、「チサンマンション東鷲宮」付近の東鷲宮小学校の通学路に「横断歩道」が設置されます。

この場所は、多くの小学生が通学や下校時に通らざるを得ない交差点ですが、自動車の通行が多いにもかかわらず横断歩道がなく、地域や保護者のボランティアの皆さんや交通指導員の方が交通誘導をして安全確保をしてくださっていました。

要望後、検討が長期にわたりましたが、県警との協議の中で市が行うべき交通安全施策の準備が整ったとのことから、8月中の工事完了の方針が示されました。



交通量が多く危険な通学路



高柳「産業団地」造成状況について

今年度から県企業局により、栗橋高柳地区の産業団地造成が始まりました。今年度は、交通協議、用地買収、工事着手などを行う予定です。

また、令和5年3月までに環境調査、同年6月までに実施設計を行います。



青毛「県春日部農林振興センター久喜中継所」について

久喜市青毛1丁目の住宅地にある「埼玉県春日部農林振興センター久喜中継所」の今後についてお問合せがありましたので、お答えします。

昭和46年から県農業改良普及所として使用していましたが、平成27年から施設の老朽化のため使用を中止していました。

その後、久喜市の利用希望もなく県も利用予定がないことから、現在は解体、売却、利活用などの検討を行っています。



写真左から、上清久天王様、いつもの自転車での報告書配布、ポッチャ大会開会式、7月に当選した友人の鴻巣市長・並木まさとし氏と



石川ただよし

バリバリやります！ 埼玉県議会議員 埼玉県と久喜市を結ぶ行動力！ 石川ただよし 報告

2022年 通算第184号 発行:無所属県民会議(県議会会派)久喜支部 作成・編集:石川忠義

事務所
〒346-0003
久喜市久喜中央 2-4-30
コバヤシビル B201
TEL: 0480-53-5107
FAX: 0480-53-5702
(番号非通知は受信できません)
ホームページ
https://www.baribarist.com/
(メールフォームあります)
YouTube
exelte blog

プロフィール: 昭和44年生まれ。久喜市立太田小学校卒業。同久喜東中学校卒業。埼玉県立大宮東高校普通科卒業。埼玉大学経済学部卒業。埼玉大学大学院経済科学研究科博士前期課程修了(経済学修士)
平成7年から久喜市議会議員6期連続当選。平成27年埼玉県議会議員初当選。県議会第2会派の「無所属県民会議」幹事長。県議会産業労働企業委員会委員。自然再生・循環社会対策特別委員会委員。埼玉県地方薬事審議会委員。埼玉県議会街路樹を考える議員連盟会長。NPO法人地方議会制度研究センター代表理事。県政躍進地方議員の会幹事長。(一社)久喜市観光協会顧問。(公財)埼玉県生態系保護協会久喜支部顧問。久喜・栗橋倫理法人会顧問。久喜市高齢者大学・同校友会ファン。彩愛クラブファン

補正予算総額 1,765億1,218万9千円

保育所や認定こども園等には、定員1人あたり1,

ます。

に施設の運営形態

あたり3万円、他

円、訪問施設1つ

1つあたり6万

いては、通所施設

障害者施設につ

を補助します。

につき1万2千円

施設には定員1人

は、通所系1施設

あたり15万円、

訪問系1施設あた

り5万円、入所系

施設には定員1人

を補助します。

高年齢者施設に

は、通所系1施設

あたり15万円、

訪問系1施設あた

り5万円、入所系

施設には定員1人

を補助します。

高年齢者施設に

は、通所系1施設

あたり15万円、

訪問系1施設あた

り5万円、入所系

施設には定員1人

を補助します。

高年齢者施設に

は、通所系1施設

あたり15万円、

訪問系1施設あた

り5万円、入所系

施設には定員1人

を補助します。

主な事業



皆様、いかがお過ごしでしょうか。今号では、令和4年9月定例会で可決した補正予算の内容や各議案・久喜市内県事業を中心にこの報告をいたします。今回の補正予算は、新型コロナウイルス対策がほとんどを占めますが、県政史上最高額の補正予算が提案・可決となりました。

福祉施設の運営費を補助

高年齢者施設、障害者施設、児童養護施設、保育所、放課後児童クラブなどに、光熱費の値上げ対策として補助をします。高年齢者施設には、通所系1施設あたり15万円、訪問系1施設あたり5万円、入所系施設には定員1人につき1万2千円を補助します。障害者施設については、通所施設1つあたり6万円、訪問施設1つあたり3万円、他に施設の運営形態による補助を行います。

私立学校の運営費を補助

物価高騰により、保護者への負担にならないように私立学校(私立の小学校・中学校・高等学校・幼稚園・特別支援学校・専修各種学校)に光熱費等の価格高騰分(11.3%)を半年分補助します。私立高校の場合は、1校あたり123万円で試算しています。なお、公立学校の光熱費等は自治体が負担しています。



生活困窮者支援

コロナや物価高騰の影響で生活に困窮する県民に県内4地区で「生活困窮者相談会」など

700円(県と市で半額ずつ補助)の補助です。



所属の「産業労働企業委員会」で質疑を行う 石川ただよし

を開催する予定です。相談支援員や弁護士等による相談や生活必需品の配布も行います。



障害者スポーツの環境を整備

要望に応じて、競技用車イス、ゴールポール、ポッチャ用具ほかを県障害者交流センターや希望があった特別支援学校などに配置します。

化学肥料の使用を減らす 農家を支援

1年で約1.5倍の価格になった化学肥料価格高騰対策として、化学肥料の使用を減らす取り組みをする農家に対して、機械等購入費の2分の1以内で支援をします。



訪問介護の複数人 訪問を補助

必要があるにもかかわらず家族の理解が得られないまま、複数により訪問介護・訪問看護などを行った場合に事業者費用を補助します。また、訪問介護等の利用者や

家族から介護職員等へのハラスメントに対する相談専用窓口を設ける予定です。

電動車(EV、PHV)などの購入に補助

電動車(EV、PHV)を購入する時に、上限を40万円の補助をします。補正予算では2,000台分を確保しています。また、外部給電器を設置する事業者に上限を25万円で補助します。



福祉施設のコロナによるクラスター発生防止

高年齢者施設・障害者施設のコロナ感染拡大防止のために、職員に週2回の抗原定性検査キットによる検査を行います。特別養護老人ホームなど1,554の高年齢者施設に、7万人の実施。障害者施設は469施設、1万人を実施します。



大野知事に要望書を提出



大野知事に令和5年度予算要望書を提出しました。地元久喜市に関わる要望事項は、県道・河川の整備や信号機の設置、交差点整備などのインフラのほか産業誘致や観光振興など64項目を要望しました。福祉の充実や商業活性化など県政全体に関わる事項は、239項目。各自治体に関わる事項は全体で191項目になりました。

一般質問を予定



12月8日(木)午後1時に県議会で石川ただよし一般質問を行う予定です。

県政全体に関わることや地元久喜市の生活環境などについて質問する予定です。当日はネット中継も行われ、後日、ダイジェスト版がテレビ埼玉で放映される予定です。



写真左上から、県道春日部菖蒲線現場説明会、栗橋地区彩愛クラブ連合会 GG 大会始球式、久喜東小学校で議会に登壇する前に読み聞かせボランティア、県道加須幸手線現場説明会、久喜市美術展、大野知事と知事室で打ち合わせ、鷲宮駅東口で早朝の報告書配布、西公民館まつり、中央幼稚園運動会、久喜市民まつり開会式、いつもの自転車での報告書配布

※裏面には久喜市内の県事業について掲載

○ **トラック運送事業者の
経営改善を支援**

燃料費高騰への緊急支援として、県内のトラック運送事業者に1台あたり3万円（軽トラックは1万円）の支援を行います。



○ **県内中小企業の
海外販路開拓を支援**

円安のメリットを生かして県内中小企業の海外販路開拓を進めるために、海外ECサイト（インターネットでの販売など）出店等の経費の補助件数を10件分から30件分に大幅に増やしました。

○ **観光振興を応援**

民間事業者と観光関連団体、商工団体など2者以上で事業実施団体をつくり、埼玉県内に訪れる観光客や観光消費が増える新たな観光資源を創出したり既存ものを磨き上げる事業に補助をします。補助率は3分の2（ハード経費は2分の1）で上限は1,000万円です。



○ **新型コロナに関する検査・
医療提供体制の確保**

妊婦の分娩前PCR検査、発熱外来PCRセンターの設置、入院医療機関の病床確保、ワクチン接種体制の確保など体制整備に総額1,558億880万6千円を計上しています。



○ **運転免許の高齢者講習施設を建設**
さいたま市岩槻区に、新たに運転免許の高齢者講習施設を設けます。鉄筋コンクリート2階建てで、税込で、税金込み15億700万円で契約を締結する予定です。工期は令和6年3月25日になります。



○ **県営住宅の外灯をLEDへ**
（特別会計として6千万円）

県内の県営住宅に設置されている水銀灯の外灯をLEDに交換します。これにより、電気代も節約され自治会の負担も軽減できる予定です。



所属の「自然再生・循環社会対策特別委員会」で質疑を行う石川ただよし

「埼玉県迷惑行為防止条例」を改正

「つきまとい行為」に連続して文書を送付する行為を加えたり、新たにGPS機器を取り付ける行為と位置情報を取得する行為などを加え、規制を厳しくします。



改正点

- ① これまでは、見張りや押しかけ、みだりにうろつく行為などは「相手方が通常所在する場所」として自宅や勤務先が想定されていましたが、新たに「相手方が現に所在する場所」として、実際に立ち寄ったお店など外出先も対象になります。
- ② これまでは、「拒まれたにもかかわらず、連続して電話、FAX、電子メール等をする行為」が規制対象でしたが、これに「連続して文書を送付する行為」が追加されました。
- ③ 相手の承諾なくGPS機器やスマホの機能で、位置情報を把握することは禁止されます。無断でスマホ画面の位置情報を盗み見ることも禁止です。
- ④ 相手方の承諾なく持ち物にGPS機器を取りつけたり、GPS機器を入れたプレゼントを渡すことは禁止されます。これらに違反した者は罰せられます。

条例公布の3か月後から施行されます。



**久喜市内で行う
埼玉県事業の進み具合**

**原地区「庄兵衛堀川」治水対策事業
一部工法を変更し順調**

庄兵衛堀川の治水対策として、川の増水時に水を一時的に久喜菖蒲公園の昭和沼に貯水する地下送水管やポンプ設置などの大規模な工事が行われています。

現在は、管路をつくるための立坑工事を行っており、事業者からこの工事に伴う振動対策に対する要望があったことから、工法を変更しました。

12月頃から地中に導排水路管を整備して、来年春頃には昭和沼まで到達する予定です。その後は、施設や機械設備の工事を行います。



増水した庄兵衛堀川



完成予想図 奥が「昭和沼」

**菖蒲町小林地区
「小林交差点」改良**

菖蒲町小林の県道川越栗橋線と県道笠原菖蒲線の交差点で、斜めに変則的な形状をしていた「小林交差点」の改良工事が進んでいます。

現在は、交差点南側の側溝整備を行っており年末に完了する予定です。歩道整備も交差点の北側と南側で進み、今年度内に完了予定です。

「小林交差点」で接続する「県道笠原菖蒲線」は、物件調査を行っています。



歩道工事が進む「小林交差点」

**島川地区・八甫地区
「島川橋」架け替え工事**

島川（旧栗橋）と八甫（旧鷺宮）の間を流れる中川を渡る「島川橋」の架け替えを進めています。

現在は、「島川橋」の架け替え工事を進めるための仮橋の整備を行っています。仮橋の工事は来年5月末に完了を予定しています。仮橋の完成後は、仮橋への水道管の設置や接続する道路の整備を行い、「島川橋」の工事を進めていきます。



**鷺宮地区
「県道加須幸手線」整備**

県道さいたま栗橋線から「宝泉寺池」下、鷺宮を通り「メモリアルトネ」方面までの1.3kmを整備しています。（全体の未整備区間は2.4km）これまでに測量や設計を行い、今年度末には用地買収率は67%になる見込みです。また、今年度は100mの道路工事が終わり、今後も用地買収と道路工事を進めていく予定です。



**下早見地区・太田袋地区
「圏央道」遮音壁設置工事進む**

地元から声を寄せて頂き、ネクスコ東日本に要望活動をしていた遮音壁の設置が決まり、工事が始まりました。



ポスター掲示のご協力をお願いいたします。

現在、大野知事と石川ただよしのポスターを市内に貼っています。

ご自宅の塀や駐車場のフェンスなどに貼らせて頂ける方は、事務所までご連絡を頂けると幸いです。

掲示期間は令和5年4月上旬までです。
TEL: 0480-53-5107





石川ただよし

バリバリやります！ 埼玉県議会議員 埼玉県と久喜市を結ぶ行動力！ 石川ただよし 報告 (無所属)

2023年 通算第185号 発行:無所属県民会議(県議会会派)久喜支部 作成・編集:石川忠義

事務所 〒346-0003 久喜市久喜中央 2-4-30 コパヤシビル B201 TEL: 0480-53-5107 FAX: 0480-53-5702 (番号非通知は受信できません) ホームページ baribarist.com (メールフォームあります)

プロフィール: 昭和44年生まれ。久喜市立太田小学校卒業。同久喜東中学校卒業。埼玉県立大宮東高校普通科卒業。埼玉大学経済学部卒業。埼玉大学大学院経済科学研究科博士前期課程修了(経済学修士) 平成7年から久喜市議会議員6期連続当選。平成27年埼玉県議会議員初当選。県議会第2会派の「無所属県民会議」幹事長。県議会産業労働企業委員会委員。自然再生・循環社会対策特別委員会委員。埼玉県地方薬事審議会委員。埼玉県議会街路樹を考える議員連盟会長。NPO法人地方議会制度研究センター代表理事。県政躍進地方議員の会幹事長。(一社)久喜市観光協会顧問。(公財)埼玉県生態系保護協会久喜支部顧問。久喜・栗橋倫理法人会顧問。久喜市高齢者大学・同校友会ファン。彩愛クラブファン

※裏面には久喜市内の県事業への質問について掲載

難病患者支援の充実を



石川ただよし 質問要旨

難病患者支援については、昨年にも取り上げた。原因が不明である難病は、誰にでも起こりうる病気であるが、

石川ただよし 一般質問で取り上げた項目

1. 難病患者の支援を充実すべき
2. 社会への民生委員制度の理解促進をすすめ、担い手不足を解消すべき
3. 県附属機関等とその他の会議の会議録作成等の基準を定めるべき
4. プレコンセプションケア、思春期保健事業の充実をはかるべき
5. 認知症への理解を進めるために「認知症サポーター養成講座」等の充実をはかるべき
6. 生物多様性を進めるべき
7. 県内祭りの無形民俗文化財指定を積極的に進めるべき
8. 地元問題について
 - (1) 県道さいたま栗橋線の門樋橋改修とこれに伴う交差点等の改良について
 - (2) 県道行田蓮田線の菖蒲町栢間地区に関わる早期整備について
 - (3) 県道加須幸手線の鷲宮地区に関わる整備について
 - (4) 県道川越栗橋線の清久地区に関わる整備について



皆様、いかがお過ごしでしょうか。今号では、昨年12月定例会で取り上げた、私の一般質問を中心にご報告をさせていただきます。

難病への無理解から難病患者への偏見や心を傷つけられることも少なくないと聞く。難病そのものへの対処の他に心理的な負担も大きいということである。 昨年の質問後、対応が不十分なところもある。改善すべきだが、難病への社会の理解状況について知事の認識を伺う。

大野知事 答弁要旨
コロナ禍、難病患者の方に講演を求めることが難しかったが、今後は、感染状況にも配慮しながら講演会や研修会などで講演していただく機会を増やすなど、難病への理解が進むよう努める。 今年度内の実施についても新型コロナウイルスの感染状況に配慮しながら、部局に対して積極的に取り組むよう指示をする。

大野知事 答弁要旨

石川ただよし 質問要旨
難病の社会への理解促進のために患者等、当事者による講演会を開催すべきであるが。

難病は見た目では病気と分からない疾患も多く、周囲の理解を得ることが難しく、難病者が孤立しやすい状況にあると感じている。 難病の症状は千差万別であり、難病患者の困りごとも様々であることから、周囲の者がどのような配慮をしたらよいか分からないという声も伺う。 病気そのものに対する理解や患者が置かれている立場に対する周囲の理解が進んでいないと強く認識している。

大野知事 答弁要旨
各難病対策地域協議会は、保健医療圏ごとに難病患者への支援体制の整備と県の施策を円滑に実施するために設けられている。 県は、当事者の考えも生かされるように全ての協議会に、委員の選任の中には「難病の患者・家族」と定めているにもかかわらず、「難病患者・家族」が選任されていない協議会がある。 当事者の意見が生かせるように、難病患者・家族などを同協議会委員に選任すべきだが。



答弁する大野もとひろ知事

「石川ただよし 県政報告会」のご案内

今後の埼玉県の事業、久喜市に関わる埼玉県の事業などを中心にご報告いたします。参加希望の方は、お気軽に下記まで「お名前、ご住所、ご連絡先」などをご連絡の上、お申し込み下さい。(席に限りがございます。)

※ 新型コロナ等の影響により、時間短縮や内容変更となる場合もあります。 開催日時:

令和5年 2月23日(木) (祝日) 午前10時

(受付: 午前9時30分より)

会場: 三高サロン5階 (久喜市久喜中央4-9-83)

～お申し込み・お問い合わせは、下記の「石川事務所」まで電話かFAXまたは郵送でお願いいたします～

ゲスト: 大野もとひろ知事

電話: 0480-53-5107

FAX: 0480-53-5702

(番号非通知は受信できません)

住所: 〒346-0003 久喜市久喜中央 2-4-30 コパヤシビルB201



信頼と連携

内部障害や難病の方など外見から分からなくても援助や配慮を必要としていることを示す「ヘルプマーク」(上)

石川ただよし 質問要旨
今年12月1日の民生委員の改選期での委嘱状況は、さいたま市、

社会への民生委員制度の理解促進をすすめ、担い手不足を解消すべき

大野知事 答弁要旨
県では、地域の実情に応じた支援体制の整備について協議するため、保健所長が委員を選任し同協議会を設置している。 議員の指摘のとおり、保健所に対して同協議会の委員として選任をするよう直ちに指示をする。 実施については、任期の更新期に反映するよう求める。

川口市などを除く埼玉県全体の定数8,053人に対して、7,285人。768人の欠員となっている。

担い手不足の原因は、時間的制約や高齢化、精神的・肉体的な負担など様々に分析されている。

民生委員がどのような活動をして、重要な役割を担っているかを広く周知し、「民生委員の活動をしてみたい。」という機運を醸成する必要がある。民生委員の重要な役割についての認識は、



大野知事 答弁要旨

核家族化の進展とともに人と人とのつながりが希薄化し、一人暮らしや高齢者、子育てに悩みを抱える世帯が孤立する傾向が強まっている。

民生委員は、地域住民の見守り役として身近な相談相手となり、支援を必要とする方と行政や専門機関との橋渡しをするなど、地域において大変重要な役割を担っている。

石川ただよし 質問要旨

活動環境の整備に加え、広く若者に制度の周知・啓発を進めることが、将来の担い手不足解消の一助になると考えるが、いかがか。



大野知事 答弁要旨

議員が指摘する担い手の裾野を広げるべく、特に若い世代に民生委員制度を詳しく知っていただくことが必要である。

県は、市町村、埼玉県民生委員・児童委員協議会、大学などの関係機関と連携をしながら、特に若い世代への民生委員制度の一層の普及啓発に取り組んでいく。

県内祭りの無形民俗文化財指定を積極的に進めるべき

石川ただよし 質問要旨

各地の祭りや伝統行事は地域の特性や伝統を引き継ぎ、歴史的・文化的価値が高く積極的に守っていく姿勢が必要である。

県内には、久喜市の「鷲宮催馬楽神楽」など8つの国指定重要無形民俗文化財があり、県指定無形民俗文化財は51の祭りや伝統行事が指定されている。

新型コロナウイルスの影響で、祭りや伝統行事は規模縮小や中止などが相次ぎ、伝承が難しい状況もある。教育委員会の重要性について認識を伺う。

高田教育長 答弁要旨

県内各地の祭りや伝統行事は、世代や立場を超えて地域の人々を結び付ける大きな力を持ち、それぞれの地域で将来に継承されていくことは重要と認識している。

石川ただよし 質問要旨

県内の祭り、行事の調査を積極的に進めたいが、いかがか。



高田教育長 答弁要旨

積極的に県内の祭りや伝統行事全体の状況を把握し、審議会の調査が円滑に進むよう努めていく。

石川ただよし 質問要旨

久喜市指定無形民俗文化財「久喜八雲神社の山車行事」、久喜提燈祭り「天王様」について、久喜市教育委員会から県無形民俗文化財の指定への要望書も提出された。

既に調査報告書も刊行している。県無形民俗文化財指定を進めたいが、いかがか。

高田教育長 答弁要旨

埼玉県文化財保護審議会の委員からは意見があり、指定には更なる調査が必要である。県としては、今後、久喜市教育委員会が更なる調査をする場合は、必要な情報提供や支援を行う。

県道さいたま栗橋線、高柳地区「門樋橋」の架け替えについて

石川ただよし 質問要旨

久喜市内の一級河川中川と県道さいたま栗橋線が交差する「門樋橋」の架け替えについて、前回質問への答弁は「地元の要望を聞きながら、市や警察と協議を進める。」ということであった。

今年2月には地元説明会で要望などを頂き、意見交換も行った。これを踏まえた進捗はどうか。

県土整備部長 答弁要旨

説明会では、橋の南北2つの交差点の右折帯設置などについて、意見を伺った。久喜市からも交通量の増加が見込まれることから、右折帯や定期信号機の設置要望があった。

このため、2つの交差点は地元の要望を踏まえ、県警、久喜市、県の3者による協議を進めるとともに、橋梁の詳細設計を実施している。

引き続き、県警や市と連携を図りながら事業を進める。

「県道川越栗橋線」清久地区の整備について

石川ただよし 質問要旨

この道路の渋滞緩和・安全対策は、平成28年2月定例会から令和3年9月定例会まで5回、一般質問で取り上げてきた。この間、少しずつ安全対策などは進み、上清久交差点の改良事業も始まった。

11月にも今後の同県道の渋滞・安全対策として地元から整備などについて要望・意見があったが、これを踏まえた整備についての考えは。

県土整備部長 答弁要旨

最も渋滞が著しい上清久交差点の測量設計を行っている。

令和4年11月の検討会では、歩道の除草や交差点の安全対策など更なる意見や要望をいただいたので、現地の状況に応じて検討する。

引き続き、検討会や地元の意見を伺いながら、渋滞対策や安全対策を進めていく。

「県道行田蓮田線」菖蒲町栢間地区の整備について

石川ただよし 質問要旨

平成30年9月定例会でも取り上げた「県道行田蓮田線」の久喜市菖蒲町栢間、下栢間交差点から久喜市・鴻巣市境までの道路の一部は幅員が狭く、自動車がギリギリですれ違う場所を地元の皆さんが横断、通行を余儀なくされている。

県は特に危険地帯から整備を進めるべきであるが。

県土整備部長 答弁要旨

県道行田蓮田線の栢間小学校の通学路に指定されていた900メートル区間は、歩道整備と車道の拡幅を実施した。

しかし、車道が狭く歩道も無い未改良区間が残っており、拡幅整備が必要である。

現在進めている事業の進捗状況、周辺地域の交通状況、土地利用の動向などを踏まえながら、他の事業も進んでいるという視点で整備時期を検討する。



早朝の各駅での報告書配布



県議会12月定例会を街頭で報告



正月恒例の自転車による「県政御用聞き」

お声がけ、ありがとうございました。



ポスター掲示のご協力を お願いいたします。

現在、大野知事と石川ただよしのポスターを市内に貼っています。ご自宅の塀や駐車場のフェンスなどに貼らせて頂ける方は、事務所までご連絡を頂けると幸いです。掲示期間は令和5年3月下旬までです。TEL: 0480-53-5107





石川ただよし

バリバリやります！ 埼玉県議会議員 埼玉県と久喜市を結ぶ行動力！ 石川ただよし 報告

2022年 年末特別号 発行:無所属県民会議(県議会会派)久喜支部 作成・編集:石川忠義

事務所
〒346-0003
久喜市久喜中央 2-4-30
コバヤシビル B201
TEL: 0480-53-5107
FAX: 0480-53-5702
(番号非通知は受信できません)
ホームページ
baribarist.com
(メールフォームあります)



プロフィール: 昭和44年生まれ。久喜市立太田小学校卒業。同久喜東中学校卒業。埼玉県立大宮東高校普通科卒業。埼玉大学経済学部卒業。埼玉大学大学院経済科学研究科博士前期課程修了(経済学修士)
平成7年から久喜市議会議員6期連続当選。平成27年埼玉県議会議員初当選。県議会第2会派の「無所属県民会議」幹事長。県議会産業労働企業委員会委員。自然再生・循環社会対策特別委員会委員。埼玉県地方薬事審議会委員。埼玉県議会街路樹を考える議員連盟会長。NPO 法人地方議会制度研究センター代表理事。県政躍進地方議員の会幹事長。(一社)久喜市観光協会顧問。(公財)埼玉県生態系保護協会久喜支部顧問。久喜・栗橋倫理法人会顧問。久喜市高齢者大学・同校友会ファン。彩愛クラブファン



今年もお世話になりました

令和4年活動概要のまとめ



※裏面もあります

令和4年3月11日から、久喜市江面の「久喜菖蒲公園通り」が大型車通行禁止(マイクロを除く)になりました。

ここは住宅地ですが、以前から速度超過の自動車等が多く、大型車も昼夜を問わず通行し激しい振動や騒音が発生。付近住民の生活に影響が出ていました。

令和3年春に私(石川)まで付近住民の皆さんから相談を頂き、「通行規制」を所管する警察関係当局に依頼をしていました。



久喜菖蒲公園通りの安全対策

朝夕を中心に長い渋滞ができ、地元からの長年の懸案だった久喜市上清久地内の県道と県道の交差点「上清久交差点」の改良事業が令和4年度から始まることになりました。

同交差点は、道路幅が狭い上に通行量が多く、歩道が未整備なため地元でも危険を指摘する声が多く上がっていました。

地元の皆さんからのご要望を頂き、平成28年2月議会から継続的に議会で取り上げ、令和4年に交差点改良の事業化が決定、予算がつきました。

これまで、県道川越栗橋線の渋滞・安全対策として、毎年度、少しずつ同県道への標示や標識の設置、道路改修などの対策事業は進んでいましたが、大規模な事業はこれが初めてです



上清久交差点改良の事業始まる



県政の情報をお届けするために、朝、市内全駅で報告書を配布しました。

市内全駅頭で報告活動



毎議会終了後には、「石川ただよし報告」を自転車で地域に配布しました。

この活動は、市議時代から25年以上続けています。



日々の活動の継続

私に寄せて頂いたご意見やご要望を調べ、県につなげました。

また、ヒアリングなどを行い、事業の状況調査や確認を行いました。

県との橋渡し役として



3月まで、県議会「コロナ対策特別委員会委員」に会派を代表して就任。新型コロナへの県の対応や生活に影響を受けた皆さん、事業者への支援について審査を重ねました。

コロナ対策を審査

各団体の要望を知事につなげました。(写真中央が大野知事、知事応接室にて)



知事に直接要望

埼玉県が行う手続き方法や手順を定めたり、条例の細部を定める「要綱」等の積極公開が始まりました。

令和3年9月定例会の一般質問で私(石川)が取り上げたもので、指摘を受けて前向きに進めるとの答弁が示されました。

質問後、積極公開に向けて令和3年秋から準備を開始して令和4年3月から順次公開を始めました。

「要綱」や「規則」は、県民や事業者から県に対して申請などがあった場合に、県がどのような基準に基づいてどのように手続きを進めていくか、細かく定めたものです。また、条例で県民や事業者の権利・義務に関することを定めた上で、手順や細かい手続きを定めるなどしたものもあります。

要綱等は、公開することでその手続きの公平・公正性を担保するとともに、関係者の利便性も高めるものです。

埼玉県には、昨年9月17日時点の集計で2,470の要綱がありましたが、この時点で県HP検索システムなどで公開していたのは「県民スポーツの日を定める要綱」や「彩の国教育の日を定める要綱」など数例しかありませんでした。

県の要綱等を積極公開に



県のホームページから現在は見ることができます。

市内県事業の課題などについて、地元の皆さんやご要望を頂いた方と現場で確認し対応しました。

現場を確認＝行動につなげる



地元久喜市や県全体の事業について、大野知事と課題を共有。説明や要望などを行いました。

大野知事と連携



地域に積極的に向き、地元や県政についてご報告、ご要望やご意見を伺いました。また、所属党派において、県内全体で活動する団体からのご意見・ご要望を頂き対応しました。



皆様の声に耳を傾けての活動

議会・委員会で積極的に発言し、自らの考えや県民・市民の声を県政に届けました。

なお、任期中に一回も登壇・発言をしない議員、委員会で一回も質疑などをしない委員(議員)もいます。



議会・委員会で積極的に発言



久喜市菖蒲町地区から「久喜菖蒲工業団地」を通り「県道さいたま栗橋線」を通る「県道下早見菖蒲線」の冠水対策工事が完了しました。

同県道は2019年の台風19号上陸時を始め、豪雨の度に約300mにわたり上下線が水没し一時道路通行ができなくなることが発生していました。

豪雨の度に通行ができず、事業活動などにも影響があることから地元や久喜菖蒲工業団地内事業者等から改善要望が出され、改善を依頼していました。



要望箇所の水害対策を推進

桜田小学校、東鷲宮小学校の通学路になっている西大輪の市道に、横断歩道の設置など安全対策を進めました。

この市道は、抜け道として利用されていることが多く地元や保護者の皆さんから令和3年にご要望を頂いていました。

子どもの安全のために



各団体や地域の催事に積極的に参加をして、皆さんからの声を頂きました。高齢者大学の催事には、ほぼ全て参加することができました。



皆さんの交流の中からお意見やご要望

令和3年6月2、3日に県内を襲った農産物への降電被害救済を知事に要望しました。

埼玉県・久喜市特産の「梨」をはじめ、県北部、東部の15市7町の農業生産物に大きな被害が出ていました。

その後、知事から補正予算が提案され、「病害虫の防除用農薬、樹勢回復用肥料と次期作の種苗等の購入費の補助」「ビニールハウスなどの修繕費用の補助」他に農業関係の融資枠拡大や利子補給などが決定しました。



農産物被害に迅速対応



県内の仲間の市長とも情報交換・連携しています。



令和4年に議会活動で取り組んだ主なもの(抜粋)

- 難病患者支援 ○ 会議録基準の策定 ○ 県生物多様性の推進 ○ 民生委員の担い手不足解消 ○ 思春期保健事業の充実 ○ 認知症サポーター養成講座の充実 ○ 県内祭りの無形文化財化 ○ 新型コロナ対策 ○ 少子化対策 ○ 通学路への信号機・横断歩道の設置 ○ 県道川越栗橋線の安全・渋滞対策 ○ 県道加須騎西線の早期整備 ○ 県道行田蓮田線の早期整備 ○ 県道久喜加須バイパスの整備促進 ○ 市内への産業集積地の誘致 ○ 県産農産物の販売促進 ○ 門樋橋架け換えの推進 ○ 原材料費高騰による事業者への影響軽減 ○ 燃料費高騰による事業者の負担軽減 ○ 定額支給されている費用弁償の実費化 ○ 特別委員会のスリム化 ○ 県有未利用地の有効利用 ○ 市内県道の振動対策 ○ 街路樹の適正管理 ○ スケートボードパークの設置 ○ 市内県道の整備 ○ 市内県管理河川の草繁茂対策・河川整備 ○ 新型コロナによる影響が続いている事業者への支援 ほか



石川ただよし

バリバリやります！ 埼玉県議会議員 埼玉県と久喜市を結ぶ行動力！ 石川ただよし 報告

2023年 新年特別号 発行:無所属県民会議(県議会会派)久喜支部 作成・編集:石川忠義

事務所
〒346-0003
久喜市久喜中央 2-4-30
コパヤンビル B201
TEL: 0480-53-5107
FAX: 0480-53-5702
(番号非通知は受信できません)
ホームページ
baribarist.com
(メールフォームあります)
f Twitter Instagram YouTube exite blog

プロフィール: 昭和44年生まれ。久喜市立太田小学校卒業。同久喜東中学校卒業。埼玉県立大宮東高校普通科卒業。埼玉大学経済学部卒業。埼玉大学大学院経済科学研究科博士前期課程修了(経済学修士)
平成7年から久喜市議会議員6期連続当選。平成27年埼玉県議会議員初当選。県議会第2会派の「無所属県民会議」幹事長。県議会産業労働企業委員会委員。自然再生・循環社会対策特別委員会委員。埼玉県地方薬事審議会委員。埼玉県議会街路樹を考える議員連盟会長。NPO 法人地方議会制度研究センター代表理事。県政躍進地方議員の会幹事長。(一社)久喜市観光協会顧問。(公財)埼玉県生態系保護協会久喜支部顧問。久喜・栗橋倫理法人会顧問。久喜市高齢者大学・同校友会ファン。彩愛クラブファン



今年もよろしくお祈いします

令和4年活動概要のまとめ



※ 裏面もあります

令和4年3月11日から、久喜市江面の「久喜菖蒲公園通り」が大型車通行禁止(マイクロを除く)になりました。

ここは住宅地ですが、以前から速度超過の自動車等が多く、大型車も昼夜を問わず通行し激しい振動や騒音が発生。付近住民の生活に影響が出ていました。

令和3年春に私(石川)まで付近住民の皆さんから相談を頂き、「通行規制」を所管する警察関係当局に依頼をしていました。



久喜菖蒲公園通りの安全対策

朝夕を中心に長い渋滞ができ、地元からの長年の懸案だった久喜市上清久地内の県道と県道の交差点「上清久交差点」の改良事業が令和4年度から始まることになりました。

同交差点は、道路幅が狭い上に通行量が多く、歩道が未整備なため地元でも危険を指摘する声が多く上がっていました。

地元の皆さんからのご要望を頂き、平成28年2月議会から継続的に議会で取り上げ、令和4年に交差点改良の事業化が決定、予算がつきました。

これまで、県道川越栗橋線の渋滞・安全対策として、毎年度、少しずつ同県道への標示や標識の設置、道路改修などの対策事業は進んでいましたが、大規模な事業はこれが初めてです



上清久交差点改良の事業始まる

県政の情報をお届けするために、朝、市内全駅で報告書を配布しました。

市内全駅頭で報告活動



3月まで、県議会「コロナ対策特別委員会委員」に会派を代表して就任。新型コロナへの県の対応や生活に影響を受けた皆さん、事業者への支援について審査を重ねました。

コロナ対策を審査

毎議会終了後には、「石川ただよし報告」を自転車で地域に配布しました。

この活動は、市議時代から25年以上続けています。



日々の活動の継続

私に寄せて頂いたご意見やご要望を調べ、県につなげました。

また、ヒアリングなどを行い、事業の状況調査や確認を行いました。

県との橋渡し役として



各団体の要望を知事につなげました。(写真中央が大野知事、知事応接室にて)



知事に直接要望

埼玉県が行う手続き方法や手順を定めたり、条例の細部を定める「要綱」等の積極公開が始まりました。

令和3年9月定例会の一般質問で私(石川)が取り上げたもので、指摘を受けて前向きに進めるとの答弁が示されました。

質問後、積極公開に向けて令和3年秋から準備を開始して令和4年3月から順次公開を始めました。

「要綱」や「規則」は、県民や事業者から県に対して申請などがあつた場合に、県がどのような基準に基づいてどのように手続きを進めていくか、細かく定めたものです。また、条例で県民や事業者の権利・義務に関することを定めた上で、手順や細かい手続きを定めるなどしたものもあります。

要綱等は、公開することでその手続きの公平・公正性を担保するとともに、関係者の利便性も高めるものです。

埼玉県には、昨年9月17日時点の集計で2,470の要綱がありましたが、この時点で県HP検索システムなどで公開していたのは「県民スポーツの日を定める要綱」や「彩の国教育の日を定める要綱」など数例しかありませんでした。

県の要綱等を積極公開に



県のホームページから現在は見る事ができます。

市内県事業の課題などについて、地元の皆さんやご要望を頂いた方と現場で確認し対応しました。

現場を確認 = 行動につなげる



地元久喜市や県全体の事業について、大野知事と課題を共有。説明や要望などを行いました。

大野知事と連携



地域に積極的に向き、地元や県政についてご報告、ご要望やご意見を伺いました。また、所属会派において、県内全体で活動する団体からのご意見・ご要望を頂き対応しました。



皆様の声に耳を傾けての活動

議会・委員会で積極的に発言し、自らの考えや県民・市民の声を県政に届けました。

なお、任期中に一回も登壇・発言をしない議員、委員会で一回も質疑などをしていない委員(議員)もいます。



議会・委員会で積極的に発言



久喜市菖蒲町地区から「久喜菖蒲工業団地」を通り「県道さいたま栗橋線」を通る「県道下早見菖蒲線」の冠水対策工事が完了しました。

同県道は2019年の台風19号上陸時を始め、豪雨の度に約300mにわたり上下線が水没し一時道路通行ができなくなることが発生していました。

豪雨の度に通行ができず、事業活動などにも影響があることから地元や久喜菖蒲工業団地内事業者等から改善要望が出され、改善を依頼していました。



要望箇所の水害対策を推進

桜田小学校、東鷲宮小学校の通学路になっている西大輪の市道に、横断歩道の設置など安全対策を進めました。

この市道は、抜け道として利用されていることが多く地元や保護者の皆さんから令和3年にご要望を頂いていました。

子どもの安全のために



各団体や地域の催事に積極的に参加をして、皆さんからの声を頂きました。高齢者大学の催事には、ほぼ全て参加することができました。



皆さんの交流の中からご意見やご要望

令和3年6月2、3日に県内を襲った農産物への降電被害救済を知事に要望しました。

埼玉県・久喜市特産の「梨」をはじめ、県北部、東部の15市7町の農業生産物に大きな被害が出ていました。

その後、知事から補正予算が提案され、「病虫害の防除用農薬、樹勢回復用肥料と次期作の種苗等の購入費の補助」「ビニールハウスなどの修繕費用の補助」他に農業関係の融資枠拡大や利子補給などが決定しました。



農産物被害に迅速対応



県内の仲間の市長とも情報交換・連携しています。



令和4年に議会活動で取り組んだ主なもの(抜粋)

- 難病患者支援 ○ 会議録基準の策定 ○ 県生物多様性の推進 ○ 民生委員の担い手不足解消 ○ 思春期保健事業の充実 ○ 認知症サポーター養成講座の充実 ○ 県内祭りの無形文化財化 ○ 新型コロナ対策 ○ 少子化対策 ○ 通学路への信号機・横断歩道の設置 ○ 県道川越栗橋線の安全・渋滞対策 ○ 県道加須騎西線の早期整備 ○ 県道行田蓮田線の早期整備 ○ 県道久喜加須バイパスの整備促進 ○ 市内への産業集積地の誘致 ○ 県産農産物の販売促進 ○ 門樋橋架け換えの推進 ○ 原材料費高騰による事業者への影響軽減 ○ 燃料費高騰による事業者の負担軽減 ○ 定額支給されている費用弁償の実費化 ○ 特別委員会のスリム化 ○ 県有未利用地の有効利用 ○ 市内県道の振動対策 ○ 街路樹の適正管理 ○ スケートボードパークの設置 ○ 市内県道の整備 ○ 市内県管理河川の草繁茂対策・河川整備 ○ 新型コロナによる影響が続いている事業者への支援 ほか